

ITS 産業動向に関する調査研究報告書

- ITS 産業の最前線と市場予測 2010 -

目 次

はじめに

第 1 章 調査研究の概要

- 1.1 目的
- 1.2 調査方法
- 1.3 調査内容

第 2 章 ITS 産業を取巻く環境

- 2.1 国内景気の動向
- 2.2 カーナビ／PND 等の市場予測の前提となる
自動車市場の動向
 - 2.2.1 国内需要（販売）の見通し
 - 2.2.2 自動車保有動向
 - 2.2.3 環境対応への新しい動き

第 3 章 ドライバーなどへの情報提供に関する ITS

- 3.1 カーナビや PND の国内の市場動向
 - 3.1.1 カーナビの市場動向
 - 3.1.2 PND の市場動向
 - 3.1.3 カーナビの構成要素
 - 3.1.4 普及への課題
 - 3.1.5 ナビゲーション関連の新しいサービス
- 3.2 カーナビや PND の海外の市場動向
 - 3.2.1 カーナビの市場動向
 - 3.2.2 PND の市場動向
 - 3.2.3 普及への課題
- 3.3 テレマティクスサービス
 - 3.3.1 テレマティクスサービスの歴史
 - 3.3.2 展開中のテレマティクスサービスの概要
 - 3.3.3 テレマティクスサービスの今後の展望

第 4 章 ノンストップ自動料金支払いシステム（ETC） 及び DSRC の応用

- 4.1 ノンストップ自動料金支払いシステム（ETC）
 - 4.1.1 ノンストップ自動料金支払いシステム(ETC)とは
 - 4.1.2 システム構成
 - 4.1.3 ETC の現状

- 4.1.4 ETC の目的と効果
- 4.1.5 市場動向
- 4.1.6 ETC の料金体系の見直し
- 4.1.7 ETC 車載機器番号の活用
- 4.1.8 ETC 及び関連サービス普及に向けた課題
- 4.2 狭域通信（DSRC）の応用
 - 4.2.1 DSRC 及びそのサービス
 - 4.2.2 DSRC 推進に向けた各方面の動き
 - 4.2.3 DSRC に関する実証実験
 - 4.2.4 展開中の DSRC 民間サービスの動き
 - 4.2.5 今後の普及への課題・シナリオ

第 5 章 安全運転支援に関する ITS

- 5.1 概要
- 5.2 協調型の安全運転支援システム
 - 5.2.1 大規模実証実験（ITS-Safety 2010）の概要
 - 5.2.2 ITS-Safety 2010 公開デモンストレーション
 - 5.2.3 今後の展開
- 5.3 自律型の安全運転支援システム
 - 5.3.1 衝突回避・被害軽減システム
 - 5.3.2 周辺環境認識システム
 - 5.3.3 駐車支援システム
 - 5.3.4 居眠り検知システム
 - 5.3.5 ナビ連携安全運転支援システム
 - 5.3.6 ドライブレコーダー

第 6 章 ITS をめぐる新しい動き

- 6.1 EV の普及支援としての ITS の活用
 - 6.1.1 低炭素交通社会システム実証実験
 - 6.1.2 非接触充電システムによる交通システム実証試験事業
 - 6.1.3 バッテリー交換方式による充電サービス実証実験
 - 6.1.4 EV の市場拡大に向けた今後の課題
- 6.2 EV・pHV タウン構想
 - 6.2.1 青森県の取り組み
 - 6.2.2 長崎県の取り組み
 - 6.2.3 神奈川県での取り組み
- 6.3 社会還元加速プロジェクトと ITS 実証実験モデル都市
 - 6.3.1 社会還元加速プロジェクト
 - 6.3.2 情報通信技術を用いた安全で効率的な道路交通システムの実現
 - 6.3.3 ITS 実証実験モデル都市・モデル路線

- 6.3.4 柏市の取り組み
- 6.3.5 他の ITS 実証実験モデル都市の取り組み
- 6.4 拡大するカーシェアリング
 - 6.4.1 カーシェアリング事業の概要
 - 6.4.2 展開中のカーシェアリングシステム
 - 6.4.3 今後の展開と課題

第 7 章 ITS をめぐる海外と国内の技術動向

- 7.1 車車間・路車間通信を利用した協調システムの動向
 - 7.1.1 各国の協調システムの動向
 - 7.1.2 通信方式
 - 7.1.3 協調システムのアプリケーション
 - 7.1.4 システム評価
 - 7.1.5 国際協調・国際標準化
- 7.2 プローブ情報システムの動向
 - 7.2.1 概況
 - 7.2.2 日本のプローブ情報システムの状況
 - 7.2.3 海外のプローブ情報システムの状況
 - 7.2.4 まとめ
- 7.3 エネルギー・地球温暖化問題に対する ITS
 - 7.3.1 自動車交通からの CO₂ 排出量の現状
 - 7.3.2 我が国の温暖化対策の目標値
 - 7.3.3 CO₂ 削減と ITS
 - 7.3.4 ITS を活用した交通流円滑化対策の事例
 - 7.3.5 今後期待される ITS 施策
 - 7.3.6 関係省庁・団体の取り組み
- 7.4 車載電子システムの動向
 - 7.4.1 自動車の電子化の現状と課題
 - 7.4.2 欧州の取り組み
 - 7.4.3 日本国内の取り組み
- 7.5 自動車電子機能安全 ISO26262 の動向
 - 7.5.1 はじめに
 - 7.5.2 ISO26262 の各 Part の概要
 - 7.5.3 ハザードアナリシス&リスクアセスメント(H&R)
 - 7.5.4 まとめ

第 8 章 若者のクルマ離れに関する調査

- 8.1 調査方法
- 8.2 調査結果
- 8.3 考察

以上